

# 輝く！女性部・青壮年部

女性部あいら伊豆地区本部は、管内地区別に10支部で構成し、全体で活動する「全体旅行」「女性講座」や支部ごとに活動している「支部活動」があります。支部活動では、「みそ作り」や「キブリ団子作り」「こんにやく作り」「スマホ教室」を開催。特に「みそ作り」は毎年好評で人気があります。

その他、地区本部が運営する教室活動や部員が運営するグループ活動など各種教室を開催し、仲間と一緒に楽しく活動しています。

「コロナ禍で活動できなかった時には、在宅運動として「マスク作り」を行い、約3500枚を製作して熱海市・伊東市の福祉施設や伊東市の小学校・保育園などに寄贈しました。宮農経済センターでは窓口で同マスクを配布し、多くの組合員の皆さまに利用され喜ばれました。

本年度はSDGsの勉強会や特



あいら伊豆地区本部役員の皆さま



女性講座で料理教室

あいら伊豆地区本部  
みんなで楽しく！  
輝く女性を目指して



JA女性部

産ダイタイのPRなどに力を入れていきます。小川電子部長は「女性の活動は地域と深くつながる活動が多い。今後とも部員と力を合わせて地域に貢献できる活動を行ってきたい」と熱く話しました。

青壮年部伊豆の国地区本部は伊豆の国市の部員が所属する北支部と伊豆市・沼津市戸田地区の部員が所属する南支部で構成し、各支部が活発な活動を行っています。

北支部には特産のイチゴやミニトマト、畜産などの部員が所属。地域住民向けのイチゴ・ミニトマトの収穫体験や地元園児との田植え・稲刈り、動物とのふれあい体験などを開催しています。

南支部ではワサビやシイタケ、花卉の部員が所属。伝統栽培のワサビの収穫・植え付け体験や原木シイタケの植菌体験、花のプレゼンイベントなどを実施。各支部で農と触れ合う機会の提供や農業の楽しさを伝え、地場農産物や農の魅力を発信しています。

令和3年度には、JA伊豆の国青壮年部としてJA青年組織活動実績発表大会に出場。食農活動や台風時の復旧支援など、仲間と産



伊豆の国地区本部役員の皆さま



▶小学生とワサビ収穫体験(上)と園児と田植え体験(下)

伊豆の国地区本部  
地域農業の活性化・食農教育・  
農業の魅力PRに注力



JA青壮年部

地と地域をつなげる活動を紹介し、その取り組みが評価されて県・東海北陸大会を勝ち抜き、全国大会へ出場しました。

今後も地域の活性化を図り、農業振興や地場農畜産物のPR、次世代を担う子どもたちへの食農教育活動などに取り組んでいきます。



# JA自己改革 ～実はSDGs～



1 「う宮～な」店頭で行われたなんすん地区の長泉メロンの販売イベント 2 なんすん地区の枝豆生産者と職員がファーマーズ御殿場で枝豆をPR販売 3 いで湯っこ市場で販売した三島函南地区のトウモロコシは即完売に

## 直売所間の ネットワーク活用 地区特産品を さまざまに地域で販売

当JAでは、ファーマーズマーケットと直売所のネットワーク「販売物流プラットフォーム」を構築しています。これを生かした農産物の販売促進やPR活動を行い、農家組合員の農業所得の向上に努めています。

7月には、ファーマーズ課・販売戦略課があいら伊豆地区特産のクッキングトマト「アイランドルビー」をフレッシュ函南店で、三島函南産トウモロコシをいで湯っこ市場とKAUらで、なんすん地区の枝豆をファーマーズ御殿場で、同地区の長泉メロンをいで湯っこ市場・う宮くな・ファーマーズ御殿場で、それぞれ販売するイベントを開きました。

各イベント会場には多くの来店客が訪れ、にぎわいました。7月2・3日の両日には、う宮

くまで長泉メロンの即売会を開き、なんすん地区本部職員が長泉メロンの特長などを来店客に説明しPRしました。店頭の特設ブースには、経済事業担当の清信昭常務が立ちトップセールスを展開し、同メロン270個を販売する人気を博しました。

ファーマーズ課の佐野謙太郎課長は「広域ネットワークを生かして、農家組合員の農業所得向上を図りたい。販売イベントに生産者の方にも参加してもらい、農業現場の声を消費者に届けると共に、消費者からも声をいただき売れる農産物作りのヒントにしてほしい」と話しました。

今後は「販売物流プラットフォーム」をさらに活用し、農産物の販売促進と農家組合員の農業所得向上につなげていきます。



※SDGsとは「持続可能な開発目標」という意味で、国際目標として国連で採択。17の目標を設定しています。